



憲法が輝く兵庫県政をつくる会
 第18号 2014年7月11日
 メール: Info@kenpo-kensei.com
 HP・ツイッター・YouTube
 「兵庫・憲法県政の会」検索! 【部内資料】

「福井判決を尊重せよ」 「原発なくす会」と県交渉

「3.11」後、初めて原発のない夏



6月19日兵庫県交渉(上)
 5月30日関電神戸行動「第百夜」には500人が参加(左)



「兵庫・憲法県政の会」は6月、「原発なくす兵庫の会」とともに、兵庫県交渉をおこないました。「福井地裁判決の尊重」「原発ゼロ」などを求めた私たちの要請に対し、県当局は「原発と自然エネルギーとの『ベストミックス』が望ましい」の態度に終始しました。

福島原発事故後初めて、原発が稼働していない夏を迎えています。その背景には、100回を超えて続けられている官邸前や関電神戸支店前などの原発ゼロを求める行動や、過半数を超える国民が「原発より命」と願う世論があります。

また、福井地裁は、大飯原発再稼働差し止めの判決を出しました。交渉では、「福井地裁判決をふまえて、関電に大飯原発運転差し止め事件の控訴を取り下げるよう求めること」と、「関電株主総会で原発からの撤退を求めること」などを県に強く要請しました。しかし、兵庫県は「関電の控訴により判決は確定されていないので、政策変更しない。原発は『ベースロード電源』であり、自然エネルギーとの『ベストミックス』が望ましい。国の規制委員会『新しい基準』による安全性が確認されれば再稼働すべき」と、従来からの回答を繰り返すにとどまらなかった。

県民に本当に安全といえるのか

交渉に参加した「会」の田中耕太郎代表幹事は「福井地裁判決は、『新基準』や電力会社の判断を乗り越えた、人格権をお互いに尊重しあうという近代民主主義の基本を指摘している。確定ではないからその論旨を認めないという立場はおかしい」と述べ、「県民に本

当に安全と言えて、それで初めて稼働できる。それが本当に言えるのか、あいまいにはできない」ときびしく指摘しました。

廃炉でこそ大きな経済効果

また、「原発なくす兵庫の会」の金持徹代表は「原発廃炉の過程で大きな経済効果が生まれる。再生可能エネルギー普及への努力をもっと強めるべき」と発言しました。

この他、参加者からは、「自治体の基本は住民の命と安全を守ること。阪神・淡路大震災で身にしみているではないか」、「関電の自然災害対策は、原発周辺に発電機車を並べたり、津波対策として窓枠にシールを貼るといふもので、とても世界水準という状況ではない」、「原発ゼロでも電力需要は足りている。再生可能エネルギーは政府発表でも2720万KWと爆発的な普及であり、県としてもっと努力すべきだ」と指摘しました。

「地域の会」総会・つどいを開こう

「明石の会」は4月19日、2014年度総会を開き44人が参加。県政も市政も本当に憲法が輝く政治にするため、大いに学び行動しようとして確認しました。田中耕太郎「会」代表幹事が「くらしと地方政治」と題して記念講演を行いました。

「住民本位の自治体をつくる兵庫区の会」は7月16日に第2回総会を開催します。知事選挙、市長選挙のまとめ、今後の運動を話し合います。和田進神戸大学名誉教授が記念講演を行います。

のり(憲) のり(法) コラム



いま東京へ向かう新幹線の中です。富士山はすっぽり雲に隠れていました。明日は東京で全国革新懇の総会です。初参加ですが、どんな会議になるのでしょうか。●先日、大学の教授会で、学校教育法「改正」を話題にしました。大学運営の大事なことは教授会で決める。これを、もっぱら学長が決めるに変えるものです。背後には「産業に奉仕する大学づくり」という財界からの要望が。予期した以上の議論になりました。法案は成立しましたが、組合は学習会を相談していますが、安倍政治への不満や不安もたくさん聞かれました。●20人ほどで行う1年生ゼミの今年のテーマは「歴史・慰安婦問題」です。いわゆる左右両派のテキストを読みながら、「謝るべきか、謝るべきでないのか」。その結論を急ぐ前に、「隣人の足を踏んだか、踏んでいないのか」その事実をしっかりと確認しましょう。●来年(15年)は兵庫県議選をふくむいつせいの地方選挙、再来年(16年)は参院選挙と衆院選挙。暴走政治の転換まで、政治の熱い季節はつづきます。●わが家では2才娘の喘息症状がつづいており、兄同様に長い時間がかかる可能性が。こちらもうまく調整していかねばなりません。(I)